

## 学校適正配置等基本方針住民説明会 質疑・意見交換（要旨）

◇平成30年8月11日（土）大総小学校体育館（15:00～16:42）

質疑 1 スクールバスの運行について、発着場所は何箇所程度考えているのか。

事務局 現時点では明確な場所は決めていません。

質疑 2 小学校は地域のシンボリックな所であると思う。もし閉校となった場合は地域のための効果的な活用をお願いしたい。

事務局 閉校後の活用については、町に公共用地有効活用検討委員会という組織がありますのでご意見として伝えます。

質疑 3 学校統合の話をお子達にはどのように伝えたら良いのか。

事務局 大総小の歴史や現状は伝えていただきたい。また、学校統合ありきで進めていないことをご理解ください。

質疑 4 適正配置等検討委員会では、分校や小中一貫校の話が出ていたと思うが、この点を検討されたのか。小中一貫校を考えた場合、防災上からも大総小は安全な学校と思うがどう考えているか。

事務局 分校や小中一貫校を取り入れるということは学校運営の観点から考えておりません。

質疑 5 学校間交流を今年に行う予定はあるのか。

事務局 交流事業は、議会で統合が承認されてからでないと実施は出来ません。実施の際には児童間の交流以外にも、教員やPTAなどの交流も必要であると考えています。

質疑 6 複式学級のメリットやデメリット、標準校のメリットやデメリットを教えてください。

事務局 一人ひとりの指導は充実しても、団体競技や団体活動が行えないなど、複式学級にはメリットとデメリットの両面性があることをご理解いただきたい。

質疑 7 複式学級の解消をやめてまで統合を進めることにしたのかを教えてください。

事務局 過小規模校のメリットよりもデメリットの方が影響は大きいであろうと検討し、今回の答申に至ったこと、統合することでより良い教育効果が期待できるものとして考えています。

質疑 8 横芝小を新しく建てる計画はあるのか。統合した後の特別支援教育の体制については。

事務局 横芝小の校舎は50年近く経過し、校舎の耐用年数を考えれば建替えが必要であると認識しています。特別支援教育の体制は、統合後も支

援体制をより充実させていきます。

質疑 9 学校統合を考えるなら、まずは教育環境の実態を把握して検討してもらえればと思うが。

事務局 様々な教育環境が存在しているため、それぞれの良いところを取り入れ進めたいと思います。

質疑 10 第一に今の子供達、これからの子供達のことを考え、統合は必要と考えている。統合する際、新しい環境への色々な不安を抱えると思うので十分な心のケアを行ってほしい。

事務局 統合が12月議会で承認された場合は、様々な交流事業を約1年半の期間で実施していくことになります。交流事業に関係する予算も確保して進めていきたいと思っています。

質疑 11 統合の件で不安な点や相談できる窓口のようなものを設けることは考えているのか。

事務局 不安や心配などは交流事業などを通じて解消出来るよう努めます。ご意見等があれば伺う機会はあることをご理解ください。

質疑 12 これから就学する保護者の方々へもっと広く周知したり、幅広い世代の方から意見を聞いてもらえたらと思うが。

事務局 適正配置等検討委員会を通じて幅広い意見を伺いながら検討し、今回の答申内容になったところです。

質疑 13 地域の声、生の声を直接聞いて学校統合の話が進むのではないのか。

事務局 検討委員会の委員の方々を通じて、検討委員会での検討状況を関係先に伝えていただきたいとお願いはしていました。

質疑 14 12月の議会で統合が決定した場合、その後の統合に関しての相談先のような窓口はあるのか。

事務局 相談先は教育課が窓口になることをご理解いただきたい。

質疑 15 体操服やスクールバスの件などは結論が出ていない。説明会が必要と思うが。

事務局 12月議会で統合が承認されてからでないとなら具体的な内容を検討することが出来ません。

質疑 16 地区回覧などでは情報が伝わるのに時間を要し、伝わらないこともある。町外の保育施設を利用しているので、未就学の保護者へ十分に行き渡る周知をお願いしたい。

事務局 今後充実できるよう検討し対応したいと思っています。